

く俳句く

初冬

木々朗

今年米香りゆたかに届きけり
新米の炊きあがりたる匂いかな
今年米上鍋にたぎる香りかな
新生姜ぷちりと噛みし匂いかな
奥利根の水のこだまも冬はじめ
山の木の瘤をあらわに冬はじめ

十一月霜月

細田安治

待ち遠し ヌーボー解禁 ワイン好き
文化の日 寒さ身にしむ 冬たちぬ
子はいずこ 爺婆じいばあ着飾かざる 七五三
手締めしめ 繁盛と健康 酉の市
黄赤緑あかみどり 軍配いずれか 紅葉狩り
日めくりひめくりに 慌ただしきや この薄さ